

狭山市教育委員会  
教育長 向野 康雄 様

狭山市立入間川中学校  
校長 関根 保子 印

令和元年度 狭山市立入間川中学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1) 確かな学力の定着 (2) 豊かな心の育成 (3) 保護者・地域との連携 (4) 安心・安全な環境の確立

2 本年度の経営方針

(1) 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの要素を基盤として、生きる力を育む教育の推進に努める。  
(2) 一人一人の良さを生かし、川中チーム力の向上を図る。

3 自己評価結果

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	教職員は方針をよく理解している。また、保護者も9割以上に周知できている。今後も学校教育目標の周知及び実現に向けて努力したい。
	2	保護者への浸透が図られたか。	A	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	A	適材適所、偏りのない校務分掌の推進を図る。教職員は複数の分掌を抱えながら、連携協力して業務を遂行している。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	A	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 教育計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編成されたか。	A	計画的な授業時数の確保に努め、1015時間を大きく上回る時数確保がなされている。地域の活動には生徒、教職員共に積極的に参加しており、地域との連携は取れている。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	A	
4 学年学級 経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか。	A	学校経営方針に基づいた教育活動(学年・学級経営)を行うことができた。小規模校の特色を生かした、全教職員で全校生徒に関わる学校づくりに努めている。教職員の参画意識を更に高め“川中チーム力の向上”を図る。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	A	
	14	意図的、計画的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	15	児童生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	B	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	A	
5 学習指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	朝読書から落ち着いた学校生活がスタートしている。今年度は、全校で授業規律の徹底と集中して授業に取り組む生徒の育成に努めた。朝コバ、モーニングトライ、放課後の補習など学力向上のための取組を充実させる。
	19	児童生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	A	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	21	児童生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	B	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な活用がなされたか。	B	
6 道徳教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされたか。	A	道徳授業時数の確保、時間割の工夫、全校共通の自己評価カードの使用など内容を充実させる。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	A	
7 特別活動	27	全体計画を理解し、生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	B	教職員・生徒ともに年間を通して各種のボランティア活動に積極的に取り組み、地域の方々と共に学校を作る意識と自覚を高める。地域からの要請には快く引き受ける気風は入間川中学校の伝統となっている。
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	A	
	29	児童生徒会活動などの特性が理解され、児童生徒の自己実現がなされたか。	B	
	30	奉仕活動の活発化が図られたか。	A	
8 学校行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	地域と一体となり、体育祭・なでしこ祭など、充実した学校行事が展開されている。行事は生徒を大きく成長させる機会であると捉えている。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互いに協力がなされたか。	A	
9 生徒指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	「全職員で全校生徒を育てる」という方針のもと、日常の些細な事でも話題にすることで、課題の早期発見・早期対応を実現している。生徒指導部会や教育相談部会では方針と共通行動の確認を行った。「学校生活が楽しく、入間川中学校が好きだ」と言う生徒100%を目指し、引き続き努力する。外部機関と積極的に連携を図ることができた。学校評価から生活のきまりの改善点を挙げ見直しを図った。次年度も共通理解・共通行動がとれるようにする。
	35	職員に共通理解があったか。	A	
	36	カウンセリングマインドを心がけて指導がなされたか。	A	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	A	
	39	児童生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	B	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	A	
	41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	A	
	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A	

10 進路 指導	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	A	1年職場体験、2年の高校の先生による高校説明会、高校模擬授業体験、3年は高校説明会と計画的に行うことができた。保護者の参加もあり、進路に対する啓発には有効であった。
	44	児童生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	A	
	45	家庭との連携が行われたか。	A	
11 保健・ 安全 指導	46	保健観察が丁寧に行われたか。	A	朝の健康観察は適切に行われた。1年を通して大きなけがや病気もなく、保健室の利用状況は良好であった。交通事故については、今後も繰り返し指導することで、未然防止に努める。ヘルメット着用の義務化も定着した。今年度はLGBTをテーマにした「性と人権に関する講演会」を実施できた。給食委員会の働きかけもあり、お弁当の日の事後の取組が定着し、掲示物作成等で啓発した。
	47	児童生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	A	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされたか。	A	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	A	
52	給食指導が適切になされたか。	A		
12 職員 会議	53	開始時刻が守られたか。	A	企画委員会であらかじめ原案を精査するなど効率化を図り、勤務時間内に終了することができている。直前の確認は日報を活用しており、活動に支障をきたすことはなかった。全職員が会議の進行には協力的で建設的な意見が出されている。会議の内容も共通理解が図られ、職員間の連携も円滑である。
	54	職員が問題意識を持って臨めたか。	A	
	55	議案の内容や提案の仕方が適切であったか。	A	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	A	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	
	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	B	
13 教職 員の 服務	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもと服務の厳正に努めたか。	A	教育公務員としての自覚をもち、教師と生徒、保護者または職員同士の信頼関係を築いて一人一人が責任をもって教育活動に参画する意識を高めた。生徒、保護者に対して丁寧にこまやかな対応を心がけている。協働の精神を醸成し、明るく元気の職場づくりに努めた。
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	B	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	A	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	B	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たされたか。	A	
	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	A	
14 校内 研修	65	研究主題が児童生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	A	年度当初の計画に基づき進めることができた。夏季休業中の小中一貫教育合同研修は、SCによる「発達障害の理解と具体的支援」をテーマに講演会を行い、その後全体研修、分科会を行った。指導者を招聘しての研修は道徳とQ-Uを行った。この研修の成果を次年度にも生かしたい。不祥事防止研修は複数回に分けて行った。小グループでの話し合いなどを取り入れることができた。
	66	研究組織や進め方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	A	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	A	
	68	研究の結果、児童生徒の変容が見られ、子供のためになったか。	B	
	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしかり身についたか。	B	
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	A	
15 施設 設備	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	人為的破損はほとんどないが、老朽化に伴う修繕の必要性が高まっているため、計画的に予算を執行した。定期的な安全点検の実施と事務室との連携を図り、事後処理と対応を迅速に行った。校内整備には全職員の参加で長年の不要物の処理を行った。次年度も計画的に不要物の処理を行いたい。生徒の作品が掲示されることが増えた。
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	A	
	73	使用後は施錠等が確実になされ、しっかり後始末ができたか。	A	
	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	A	
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	B	
16 学校 事務	76	出勤簿は毎朝、押印されたか。	B	文書、諸表簿の取り扱いが適正に行われた。出勤簿の押印は個人的に声掛けを行った。会計事務も適正に迅速に処理することができた。引き続き、個人情報や現金の管理を図る。
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	A	
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	A	
	80	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
17 P T A 家庭 地域	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	電話連絡や家庭訪問を丁寧にすることで、保護者との連携が図られ、理解を得ている。保護者、地域と学校が連携して生徒を育成する土壌ができています。地域の活動については、生徒、教職員が積極的に参加し、交流を深めている。
	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	A	
	84	積極的にP T Aや地域の活動へ積極的に参加したか。	A	
18 部活 動	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。	A	生徒の良さを伸ばす指導に努めているが、小規模校ゆえ顧問の専門性と担当部活にずれが生じる面が課題である。市のガイドラインに沿って活動計画をたてた。これによって職員の負担軽減につながった。
19 総合	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	A	自然体験、福祉体験、進路・キャリア教育等、年間計画に沿って実施することができた。事前学習や事後の発表のために調べ学習、PCの活用ができた。
	87	計画に沿って実施できたか。	A	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	B	